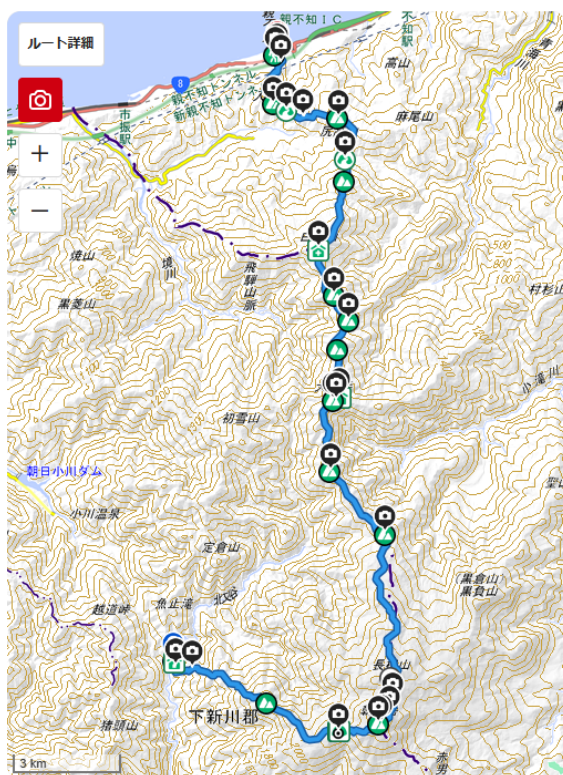
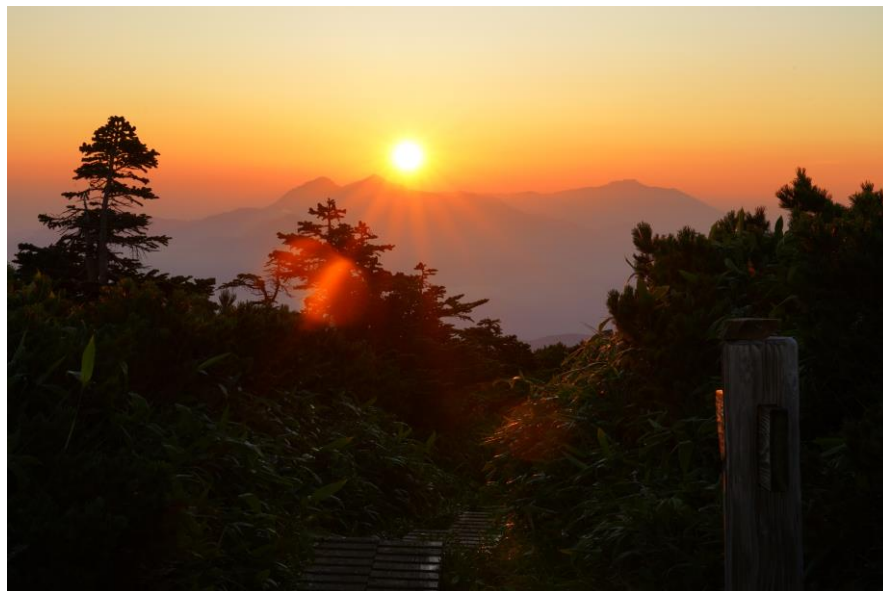
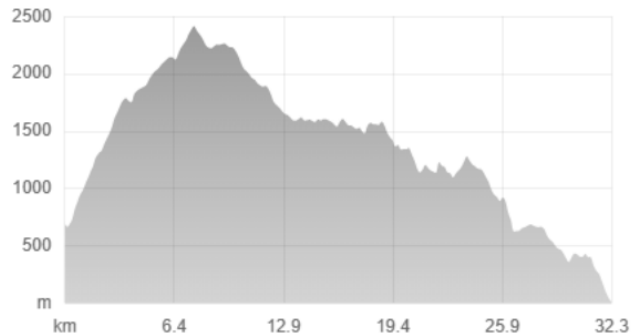


デンソー山岳部 23年度夏山合宿報告書

- 山域山名 北アルプス朝日岳～柵海新道～親不知
- 日程 2022年8月12日～15日
- メンバー CL小堀、SL谷口、館谷（食料）、福岡、西川、古



距離



山の情報

白鳥山 (新潟県糸魚川市) ・下駒ヶ岳・黒岩山 (新潟県) ・菊石山・サワガニ山・尻高山 (新潟県) ・入道山 (新潟県) ・犬ヶ岳 (新潟県) ・イブリ山・朝日岳 (富山県、新潟県) ・長栴山

1日目 8/12(月) 晴れ~曇り(西川 記)

【行動時間】 7h30m

親不知駐車場(6:40)→タクシー移動⇒北又小屋(8:10)→イブリ山(12:15)→朝日小屋テント場(14:10)

深夜2時北工場駐車場に集合し、4名で親不知駐車場へ向かう。舘谷君・福岡君の北陸出身コンビは前日に出発し道の駅で寝ている。6時40分、親不知駐車場に到着し準備を整える。ジャンボタクシーに乗り北又小屋の登山口へ。運転をしていた私はタクシー内で爆睡。体力を温存し、これからの長い山行に備えた。

北又小屋をスタートし手すりのない吊り橋を渡る。暑くはあるが思ったほどではない。ここは標高800mほど。今後が思いやられる気がした。

道は樹林帯を延々と登る。眺望はなく、舘谷君をはじめ、皆テンション上がりず文句は多い途中、○合目表示が定期的に出てくるのが励みになる。朝日小屋までは近いと思っていたら、イブリ山までの表示と気づき皆がっくりくる。1,000mほど登り、イブリ山を通過。しばらくすると山容はガラッと変わり、眺望が開け、目の前にはチングルマの綿毛が咲き乱れる。道中、2度とここは来ないと言っていたメンバーも「こんな花畑は初めて見た！チングルマが花の頃また来たい！！」とテンションが上がり、発言も180度ひっくり返る。それだけ見事な花畑が目前に広がり、朝日小屋まではみな上機嫌で進む。これがこの山行の早めのご褒美だとはこの時にはまだ気づいていなかった。。。

テント場は広く、まだ十分に余裕があった。エスペースを並べて2つ張り晩御飯まで思い思いに過ごす。水も潤沢にあり、小屋もきれいで快適なテント場であった。

夕方には少し歩いて夕陽を皆でながめ、明日からの本番、「梅海新道」へ思いを馳せながら早めに就寝することとした。



序盤は樹林帯を登る



眺望が開けテンションUP



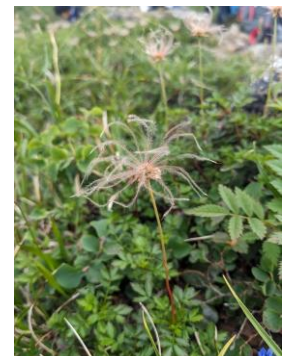
マツムシソウ



朝日小屋まであと少し



まだ笑う余裕がある



チングルマ

2日目 8/13(日) 晴れ~曇り~雨 (古記)

【行動時間】9h

起床(3:00)→出発(4:08)→朝日岳(5:20)→吹上のコル(6:00)→黒岩水場(9:00)→サワガニ山(11:00)→北又水場(12:00)→梅海山荘(13:04)

先日は暑かったため、出発の時間を当初計画の6時から4時に変更。夜は快晴、天の川がきれいだった。次の朝3時起床、4時出発。朝日岳まではまあまあ急登だったが、早朝の空気が涼しくて、山頂まで快適に登ることができた。山頂についた頃、ちょうど空が赤く染められた。数分間を待つと、太陽が遠くの山に昇ってきました。ここで集合写真を撮って、山頂を出発。山頂付近、様々なお花咲いていて、楽園のような素敵な場所だった。ここから吹上のコルまで、みんながテンションマックス！後でわかったのは、この2-3時間が、今回の三日間歩きの中、唯一の癒しだった。

吹上のコルから緩やかな登山道を2時間半くらい下っていくと、小さな沢に出会った。地図上で給水ポイントであることを確認し、ここでこれから二日分の水を補充することが決まった。西川さんと館谷さんが浄水器を持参してくれたおかげで、きれいな水を確保することができた。一方、補充した分の水の重さに加え、気温も一気に上昇したので、今日の地獄モードがここから正式に始まった。暑い！重い！休憩したい！と思いながら必死に登っていた。下りはまだ何とか行けたが、登りになる度に、とにかく辛いと感じ、私はなぜ登りにきたのか？！誰がこのコースを夏山合宿にしたのか？！とずっと文句を言いながら歩いていた。（ごめんなさい。。。）暑すぎて、三日目の出発時間が6時→4時→3時、徐々に早まり、最終的に0時起床、1時出発とのナイトハイクに変更された。暑い中、文句を言いながら、やっと梅海山荘に到着した。時間は午後1時。

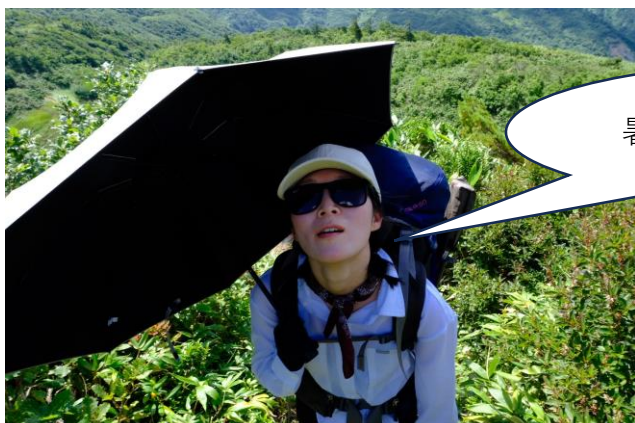
朝日岳から梅海山荘まで、距離12.8km、登り764m、下り1360mとの行動だった。天の川、朝日、お花畑、沢、猛暑。。。濃い一日となった



朝日岳山頂で集合写真



朝日を浴びながら歩くメンバーたち



暑い！重い！休憩したい！

3日目 8/14(月) 晴れ~曇り(谷口記)

【行動時間】12h30m

起床(0:00)→出発(0:50)→下駒ヶ岳(3:00)→白鳥山(4:30)→坂田峠(6:30)→尻高山(7:20)→二本松峠(8:20)→入道山(8:35)→梅海新道登山口(9:40)→親不知海岸(9:50)

前日決めたように0時起床。就寝時間は十分とっているはずだが起床タイミングがずれて少し眠い気がする。テント場でお湯を沸かして朝ごはんを静かに食べる。テント撤収を済ませ、0:50頃ヘッドランプ装備してナイトハイク開始。雨は降っていないが雲の中を歩いているような気候で、湿度のせいで熱がこもり暑い。梅海山荘から最初は急な下りがあり、黄連の水場まで350m下がる。風がなくどこも暑いが、唯一コルでは風が抜けて涼しい。コルで何度か大休止を取った後、下駒ヶ岳、白鳥山を登る。下駒ヶ岳は岩が露出しておりトラロープがある急な登りもあった。

ここまで真っ暗で周りは何も見えず黙々と距離を稼ぐように歩いていたが、白鳥山が近づいてくると東の空が赤く焼け、あたりも明るくなって来る。台風の影響で少しは雨が降ってくれば涼しくなって良いと思っていたが、今日も天気がよさそうである。4:30白鳥山、白鳥小屋到着。少し休んで再度下り始める。日が昇ってあたりが見えるようになったもののあまり見どころはなくずんずん降りる。途中シキ割の水場はかなり細いが冷たい水が流れていた。さらに進み、坂田峠から尻高山を70m登り返し、二本松峠から入道山まで再度70m登り返す。入道山を過ぎると後はピークがなく尾根の正面に海が見えるようになり、テンションが上がる。長かった…暑い…と思いつつも、達成感の中9:40梅海新道登山口着。汗でベタベタのザックを下ろし、親不知の海岸まで階段を駆け下りる。今日の海は多少波あり、あまり泳ぐことはせず波打ち際で海水を浴びる。海水は適温でかいた汗が流れすっきり。この3日間ずっと上り下りが続き、暑さにやられたが、北アルプスの山から海まで歩いた達成感と、最後に海で汗を流せたのは最高だった。

駐車場で水浴びをして着替え、温泉に入り、富山のお寿司を食べ20:00愛知着。



4時間ほど歩いてようやく日の出



親不知到着



←海岸で水浴びする一同

《食料》 担当：舘谷

■初日夜

中華丼(レトルト八宝菜+アルファ米)

豆サラダ(豆+ミニトマト+海藻+ツナ+ドレッシング)

スープ(フリーズドライ)



■2日目夜

親子丼(フリーズドライ親子丼+アルファ米)

高野豆腐(高野豆腐+乾燥シイタケ+乾燥人参)

味噌汁(フリーズドライ)



■所見

2日目はかなりの水を担ぐことが想定されるルートだったので、軽量化を意識しつつも、山で不足しがちなタンパク質が摂れるメニューとした。朝日小屋で水場の情報が得られず、早めに汲むことを勧められたため、当初予定していた北俣ノ水場ではなく、1つ前の黒岩平で2日分の水を手した。(結果的には北俣も涸れていなかった)

《装備》 担当：福岡

エスパース×2、バーナー×2、ガス缶小×2、コッヘル1セット、角板×2

プラティパス×2、

■所見

2、3日目の水場が枯れる可能性があるとして下調べで判明していたため、確実に水が補給できそうな2日目ルート中盤の黒岩平を最終補給地として、各個人でそれ以降の水(4L以上)と夕食分(4L)を補給することにした。該当場所は沢水であったため、西川さん、舘谷さん持参の浄水器で濾過した。

2日目ルート後半の北又の水場は枯れてなかったものの、水量少なくいつ枯れても不思議ではないと考える。

その他装備は、酷暑が予想されたため軽量化に努め、テントはエスパース4を2つ、ガス缶は小を2台とした。

《会計》 担当：谷口

朝日小屋テント 12,000円、梅海小屋テント 2,000円、食費 12,000円

タクシー(親不知~北又小屋) 14000円

- 交通費は各車で清算。
- タクシーは9人乗りジャンボタクシー、1000円/人の補助金が出てお得。

《参加者感想》

■谷口

梅海新道はおよそ2年前から歩きたいと思い始めそのタイミングを伺っており、夏合宿CLの小堀君に提案して採用してもらった。ただ正直あまり下調べしておらず、技術的な難所があるわけではないので歩けば大丈夫と考えていた。行ってみれば低山ゾーンではとにかく暑く、水場も心もとない山で大変だった。とはいえ、朝日岳周辺のお花畑が綺麗だったこと、親不知で海に入れたこと、愉快的なメンバーで辛いときも楽しく歩けたことは最高だった。もう十分楽しんだが、20年くらい経てばまた歩きたいと思い始めるかもしれない。皆様サポート頂きありがとうございます。

■館谷

いつか行ってみたいと思っていた梅海新道での合宿。暑さ、虫、水場など、思っていた以上に過酷で修行な3日間でしたが、同行メンバー・サポートいただいた方々のおかげで楽しく乗り切れました。ありがとうございます。

■福岡

高度、天候から暑くなると予想していたが、特に3日目の朝イチの霧の中は想像以上の暑さであり、対策が必要と感じた。一方で、朝日岳近傍の高山植物の素晴らしさや、海までたどり着いた達成感を味わうことができた。水、暑さ対策などをメンバ全員で協力しながら過ごした3日間は素晴らしい思い出になりました。メンバおよびサポートいただいた方々、ありがとうございます。

■西川

昨年、行こうとしていた梅海新道。膝の故障で断念したが今年無事に行けてとてもうれしかったです。暑いことは理解し、個人装備も軽量化に努めたが想像を超える暑さで途中熱中症になりかけました。距離・標高差だけでは計れない過酷さが梅海新道にはありました。一緒に行ったメンバーに励まされ、楽しませてもらい3日間乗り切れました。皆様サポートいただき、ありがとうございます。

■古

4年ぶりに山岳部の夏山合宿に参加しました。今回は北又峠から入山し、北アルプス最北部の梅海新道を歩いて、最後に日本海の親不知に降りて皆で海にドボンする計画。

なんだか青春を感じる。。。

3日間歩いて唯一の癒し時間は2時間。。あとはほぼ地獄モード。でも、また仲間たちと一緒に歩けることが1番の幸せだと思います。皆に感謝がいっぱいです。

また一緒にいろんな山に登りたい（ここはもう2度と来ない）ありがとうございます。

《CL総括・感想》

■小堀

山行全体として天候に恵まれ、特に2日目の朝方は素晴らしい景色の中の山行となり非常に気持ちよかったです。2日目後半からは苦しい時間もありましたが、一人ではなくメンバーと一緒に上っていたからこそ最後まで楽しく山行を乗り切れたかなと思います。

初めての夏山合宿でCLという役割をいただき、不手際も多い中メンバーの皆様に支えられ、無事夏山合宿を遂行することができたと思います。皆様に感謝です。またみんなで合宿のような長期の山行に出向いていきたいです。